

事業実施報告書

- 道府県・政令市名【 福島県 】

1 実践テーマ	①・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・⑤(複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	第5学年 74名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名(総合的な学習の時間・学級活動) ② 行事名() ③ その他() (2) 地域における活動 ① イベント名() ② その他()
4 目標 (ねらい)	本県出身のトップアスリートからスポーツのもつすばらしさ、夢や目標を達成するために必要なことを学ぶとともに、人のかかわり方や物事への取り組み方を学び、これからの生き方を考える契機とする。

5 取組内容

【講話】

「スポーツを通して夢や目標を持つ」

大野 均 氏（東芝ブレイブルーパス東京）

ラグビーワールドカップの出場の動画や写真を用いて、児童に分かりやすく話をしていただくとともに、夢や目標を持つことのすばらしさを自分自身の体験から話していただいた。



【実技】

ラグビーボールを使い、実際にパスを見せていただいたり、ラグビーのルールに触れながら楽しくパスゲームを行ったりとラグビーの魅力を存分に味わうことができた。



【学級活動】

講話や実技を通して感じたことや考えたことを振り返ること、自分のこれまでの考え方と変わったことやこれから生かしていきたいことなどをディスカッションして深めることができた。

6 主な成果

大野均氏の講話・実技を通して、オリンピック・パラリンピック本大会が終わった後の講話・実技だったため、児童は大きな関心を持って臨むことができた。また、本県出身のアスリートであること、世界大会を幾度となく経験していることから、講話の内容についても大変興味深いものであり、児童を惹きつけ、夢や目標を持つことの大切さやスポーツの楽しさを感じ取ることができた。

7 実践において工夫した点 (事業の特色)	ラグビー自体が児童にとってはなじみの薄いものであったため、実技を取り入れてもらうことで、ラグビーの元日本代表選手という言葉や行動が児童にとっても新鮮に感じることができた。ラグビーのおもしろさや楽しさを実技を通して十分に味わうことができるようにした。
8 主な課題等	児童に付けさせたい力をはっきりと明記しておかなければ、どのような講師を呼べばよいのかも曖昧になってくる。事前の計画が大変重要になってくる。 また、計画書や報告書等の一連の流れがはっきり分かっていないと承諾書等も間に合わなくなってしまう。報告書等も自治体に提出なのか、都道府県に提出なのか、国へ提出なのかも分かりづらい。フローチャートのようなものがあると視覚的にも分かりやすい。
9 来年度以降の実施予定	児童は小学校という小さなコミュニティの中で生活しているが、世界に目を向けること、自分たちの住んでいる地域に目を向けることなど、児童の視野が広がっていった。本校のスローガンでもある「Cha! Cha! Cha! (Chance Challenge Change)」へも今回の授業は通じるものがあり、チャンス児童に与えることができたと考えられる。これからは、挑戦し、自分自身を変えられることができるよう教師側でサポートをしていくとともに、スポーツの楽しさ、チームワークのよさを伝えていけるよう継続した指導をしていきたい。